

前年度(昨年4月1日～今年3月31日)における運搬実績について記入してください。

前年度(実績年度)を記入してください。

記載例

提出日を記入してください。

産業廃棄物 運搬実績報告書(令和〇年度) 特別管理産業廃棄物

(あて先) 一宮市長

令和〇年〇月〇日

前年度(実績年度)を記入してください。

許可番号を右づめで記入してください。産業廃棄物、特別管理産業廃棄物いずれの許可も有している場合は、両方の許可番号を記入してください。

報告者 住所 〒***-****
一宮市東町1番地

氏名 株式会社A社 代表取締役 一宮 太郎
(名称及び代表者の氏名)

令和〇年度の産業廃棄物の運搬実績について、次のとおり報告します。
特別管理産業廃棄物

許可番号	137000XXXX	許可の種類	産業廃棄物収集運搬業	許可年月日	令和〇年〇月〇日		
	137500XXXX		特別管理産業廃棄物収集運搬業		令和〇年〇月〇日		
産業廃棄物の種類		運搬の状況					
特別管理産業廃棄物の種類	コード	運搬先の名称	所在地		処分方法	運搬量	単位
			コード				
1	06	B社(許可番号B)	愛知 都道府県	名古屋 市町村	023 R	10	① t ② kg
2	06	C社(許可番号C)	三重 都道府県	津 市町村	024 C	5	① t ② kg
3	12	D社(許可番号D)	静岡 都道府県	浜松 市町村	022 H	10	① t ② kg
4	53	E社(許可番号E)	岐阜 都道府県	大垣 市町村	021 C	100	① t ② kg
5			都道府県	市町村			① t ② kg
6							① t ② kg
7							① t ② kg
8							① t ② kg
9			都道府県	市町村			
10			都道府県	市町村			

同じ種類の廃棄物であっても、運搬先、所在地、処分方法のうち一つでも異なる場合は、行を変えて記入してください。

産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の実績がある場合は、1枚の報告書に併せて記入していただく結構です。

産業廃棄物の種類及びコードについては、別添の廃棄物コード表に従って分類し、記入してください。

運搬先が産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処分業者である場合は、その業者の許可番号を()内に記入してください。

運搬先所在地のコードについては、別添の都道府県コード表に従って記入してください。

処分方法のコードについては、別添の処分方法コード表に従って記入してください。

単位は、t又はkgを選んでください。体積で把握している場合は、別添の換算値又は実測値等により、重量に換算してください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付してください。

廃棄物種類等のコード表

1. 廃棄物コード表

(1) 産業廃棄物

コード	産業廃棄物名
01	燃え殻
02	汚泥
03	廃油
04	廃酸
05	廃アルカリ
06	廃プラスチック類
07	紙くず
08	木くず
09	繊維くず
10	動・植物性残さ
11	ゴムくず
12	金属くず
13	ガラス・陶磁器くず

コード	産業廃棄物名
14	鉱さい
15	がれき類
16	家畜のふん尿
17	動物の死体
18	ばいじん
19	13号廃棄物
20	混合物
21	石綿含有ガラス・陶磁器くず
22	石綿含有廃プラスチック類
23	石綿含有がれき類
24	石綿含有紙くず
25	石綿含有木くず
26	石綿含有繊維くず

コード	産業廃棄物名
27	石綿含有混合物
28	動物系固形不要物
29	廃酸(水銀使用製品)
30	廃アルカリ(水銀使用製品)
31	動・植物性残さ(水銀使用製品)
32	混合物(水銀使用製品)
33	ばいじん(水銀含有)
34	燃えがら(水銀含有)
35	汚泥(水銀含有)
36	廃酸(水銀含有)
37	廃アルカリ(水銀含有)
38	鉱さい(水銀含有)
39	石綿含有汚泥

(2) 特別管理産業廃棄物

コード	特別管理産業廃棄物名
50	引火性廃油
51	腐食性廃酸
52	腐食性廃アルカリ
53	感染性廃棄物
57	特定有害鉱さい
58	特定有害廃石綿等
59	特定有害ばいじん
60	特定有害燃え殻

コード	特別管理産業廃棄物名
61	特定有害廃油
62	特定有害汚泥
63	特定有害廃酸
64	特定有害廃アルカリ
65	第13号特定有害廃棄物
66	特管廃棄物の混合物
67	PCB汚染物等
68	特定有害廃水銀等

2. 都道府県コード表

コード	都道府県等
001	北海道
002	青森県
003	岩手県
004	宮城県
005	秋田県
006	山形県
007	福島県
008	茨城県
009	栃木県
010	群馬県
011	埼玉県

コード	都道府県等
012	千葉県
013	東京都
014	神奈川県
015	新潟県
016	富山県
017	石川県
018	福井県
019	山梨県
020	長野県
021	岐阜県
022	静岡県

コード	都道府県等
023	愛知県
137	一宮市
024	三重県
025	滋賀県
026	京都府
027	大阪府
028	兵庫県
029	奈良県
030	和歌山県
031	鳥取県
032	島根県

コード	都道府県等
033	岡山県
034	広島県
035	山口県
036	徳島県
037	香川県
038	愛媛県
039	高知県
040	福岡県
041	佐賀県
042	長崎県
043	熊本県

コード	都道府県等
044	大分県
045	宮崎県
046	鹿児島県
047	沖縄県

3. 処分方法コード表

コード	処分方法
A	脱水
B	乾燥
C	焼却・ばい焼
D	油水分離

コード	処分方法
E	乾留・蒸留
F	中和
G	溶融加熱分解
H	破碎・粉碎・切断・圧縮

コード	処分方法
I	コンクリート固型化・固化・無機封鎖
J	コンポスト・発酵処理
K	選別
L	蒸気滅菌、乾熱滅菌、煮沸、薬剤消毒

コード	処分方法
イ	埋立(遮断型処分場)
ロ	埋立(安定型処分場)
ハ	埋立(管理型処分場)
N	海洋投入

コード	処分方法
Z	その他
P	再生利用

4. 産業廃棄物の換算比重

産業廃棄物の種類	換算比重 (t/m ³ 又はkg/l)	産業廃棄物の種類	換算比重 (t/m ³ 又はkg/l)
燃え殻	1.14	ゴムくず	0.52
汚泥	1.10	金属くず	1.13
廃油	0.90	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1.00
廃酸	1.25	鉱さい	1.93
廃アルカリ	1.13	がれき類	1.48
廃プラスチック類	0.35	動物のふん尿	1.00
紙くず	0.30	動物の死体	1.00
木くず	0.55	ばいじん	1.26
繊維くず	0.12	13号廃棄物	1.00
動植物性残さ	1.00	混合物	1.00
動物系固形不要物	1.00	感染性廃棄物(容器を含む)	0.30

※ 換算比重の数値は参考値です。